

第六次内灘町総合計画

【概要版】

ともに支え、ともに歩む
希望育むまち うちなだ

令和8年度 ▶▶▶ 令和15年度

◆計画の策定趣旨

本町は、令和6年能登半島地震により、側方流動を伴う液状化現象が、河北潟西岸地域を中心に、顕著でかつ広範囲な未曾有の規模で発生し、一刻も早く被災された町民が被災前の日常を取り戻すことができるよう、復旧・復興に向けたまちづくりが急務となっています。

また、近年においては、地震のみならず豪雨や台風等の大規模な自然災害リスクが顕在化しているほか、人口減少による地域経済の縮小や担い手不足等が懸念されています。

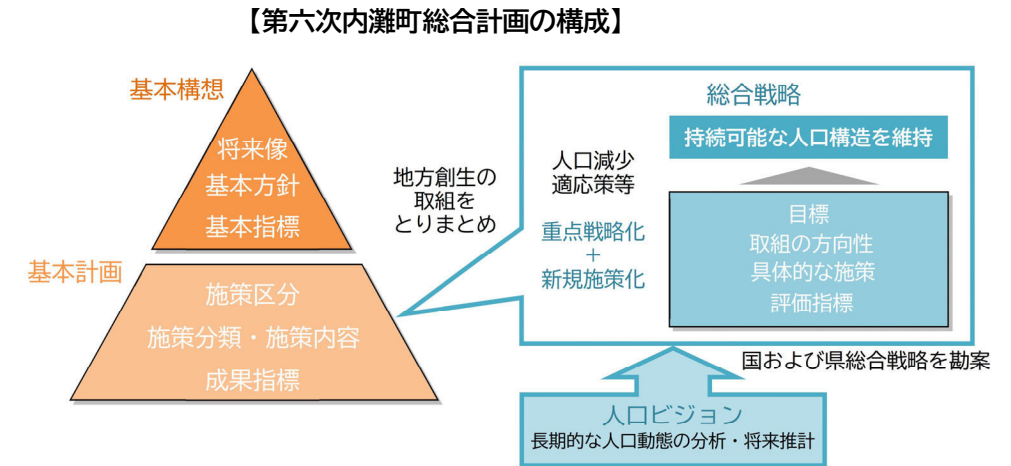
さらに、デジタル技術の進展や持続可能な社会の構築に向けた取り組み、地球環境に対する関心の高まりなど、私たちを取り巻く環境は大きく変化しており、震災からの復旧・復興と並行して、地域の活性化に結びつく新たな視点を取り入れたまちづくりを進めることが必要です。

本計画は、これらの新たな課題や社会情勢の変化に対応するため、住民と行政が一体となり、近隣市町との相互協力を図りながら、今後も本町が安全で住みよいまちとして持続的に発展するためのまちづくり指針として策定します。

◆まちの将来像・基本方針

◆計画の期間・構成

基本構想および基本計画の計画期間は、令和8年度～令和15年度の8年間とし、令和8年度～令和11年度を前期計画、令和12年度～令和15年度を後期計画とします。



ともに支え、ともに歩む 希望育むまち うちなだ

本計画では、地震からの復旧・復興を最優先に、町をとりまく様々な課題に対して、町民一人ひとりの絆と協力を力に変えて、未来へと歩みを進める姿を目指すため、「ともに支え、ともに歩む 希望育むまち うちなだ」をまちの将来像として掲げ、各種まちづくりを進めてまいります。

多様な立場の人が互いに支え合い、安全で安心できる暮らしを築き、子どもから高齢者まで誰もが希望を感じ、育めるまちを目指しながら、自然と共生し、復旧・復興を礎にした新たな成長を実現する、強くやさしい内灘の将来像です。

基本方針 1

豊かな自然とともに
暮らしを守り豊かにするまちづくり
都市基盤・生活環境・自然環境

本町の魅力である海や砂丘等の豊かな自然環境を守りながら、誰もが安心して快適に暮らせる都市基盤と生活環境の整備を進めます。

基本方針 2

みんなで支え合う
安心して健やかに暮らせるまちづくり
安全・福祉・医療

防災・減災対策を強化し、避難所機能や防災インフラの整備、自主防災組織への支援と防災教育を進めます。また、医療・介護など福祉サービスを充実させ、誰もが安心して暮らせる地域を築きます。

基本方針 3

学び成長し活躍できる
心豊かに未来を拓くまちづくり
教育・文化・スポーツ

町民一人ひとりが安心して学び、心豊かに成長できる環境づくりに取り組みます。学校教育やICT活用、生涯学習等を推進し、地域の歴史や文化を大切にされた伝統行事等への参加を促します。スポーツによる健康づくりや世代間交流により、震災に負けない未来を拓く人づくりを進めます。

基本方針 4

にぎわいと活力を生む
地域の元気を生み出すまちづくり
産業・観光・交流

海や砂丘等の地域資源を活かし観光振興と地域産業の活性化に取り組みます。地場産品のブランド化や創業支援等で雇用の創出と定住促進を目指します。体験型観光やインバウンド対応強化等で交流人口を増やし、震災からの復興や町全体ににぎわいを生み出します。

基本方針 5

対話でつながる
絆を深め共創するまちづくり
地域づくり・行財政

人口減少や少子高齢化、震災からの復旧・復興等の課題に対応するため、住民参加を推進し、町民一人ひとりの声を大切にするとともに、対話を通じて課題を共有し、解決策をともに考え新たな価値を創造する「共創」のまちづくりを進めます。

◆基本指標

令和15年の将来目標人口は約25,000人、世帯数は約12,000世帯を目指します

◆重点プロジェクト

災害に強いまちづくり プロジェクト

ハード・ソフト両面から防災・減災対策を強化することで、安全な生活基盤を確立します。

- ・被災者の生活再建と、道路・上下水道等の早期の復旧・復興
- ・防災教育・訓練などによる防災意識の向上
- ・避難所や防災・交流機能を備えた拠点整備
- ・災害情報伝達体制の強化、地域防災計画の見直し など



住みよい内灘推進 プロジェクト

防犯、公共交通、空き家の活用等の取組を一体的に進め、住みよい内灘を実現します。

- ・様々な危険や障害をなくす防犯・交通安全対策の強化
- ・地域公共交通の利便性向上
- ・空き家等の活用による住まいの選択肢拡大
- ・自然環境の保全・育成活動や意識醸成の推進 など



子育て・福祉応援 プロジェクト

高齢者・障害者を含むすべての町民が地域で安心して暮らせるよう、生活の質の向上を図ります。

- ・子育て世代が集える交流拠点の充実
- ・質の高い保育・教育環境の整備、経済的支援の拡充
- ・相談・見守り体制の強化
- ・福祉サービスの充実 など



賑わい・活力創出 プロジェクト

多世代が集い、学び、楽しめる場づくりを通じて、地域の賑わいと愛着の醸成を図り、復興と地域経済の好循環につなげます

- ・内灘海岸や河北潟放水路周辺の賑わいの創出
- ・被災事業者への支援・再建
- ・地域経済の復興・活性化
- ・石川中央都市圏における近隣市町との連携 など



地域力・DX推進 プロジェクト

分野横断のDXを計画的に推進し、生活の質の向上と業務効率化の両立を図るとともに、課題解決に向けた実行力ある体制を構築します。

- ・地域コミュニティの再建
- ・DX推進等の行政運営の効率化
- ・公共施設マネジメントの推進
- ・行政情報公開と住民意見を反映したまちづくりの推進 など



◆総合戦略

基本目標

本町では、第2期計画で掲げた4つの基本目標と横断的な施策に、国の地方創生2.0の政策や社会動向などを踏まえた新たな視点を取り込み、総合戦略を策定します。

【基本目標1】 災害に強く 生活基盤のいち早い復旧・復興と安全・安心の確保

- 防災・減災対策の強化 くらしの安心
- 地域の防災意識や防災力の向上 くらしの安心 付加価値創出
- 安心して暮らせる生活基盤の整備 くらしの安心 付加価値創出 新・広域連携

【基本目標2】 誰もが住みよい 魅力的なまちづくりの推進

- 住みやすい環境整備と情報発信の強化 くらしの安心 人や企業を各地に
- 多様なニーズに対応した移住・定住支援 くらしの安心 人や企業を各地に
- 地域と繋がる関係人口の創出・拡大 人や企業を各地に 新・広域連携

【基本目標3】 未来を育む 希望あふれる地域共生社会の実現

- 経済的負担の軽減と切れ目のない支援 くらしの安心
- 地域全体で支える子育て・福祉環境づくり くらしの安心
- 健やかな成長を支える教育の充実 くらしの安心

【基本目標4】 地域資源を活かす 活力ある産業と雇用の創出

- 雇用の創出と地場産業の高付加価値化 付加価値創出
- 多様な働き方を支援する雇用環境の整備 くらしの安心
- 地域資源を活かした文化・観光振興 付加価値創出

横断的施策

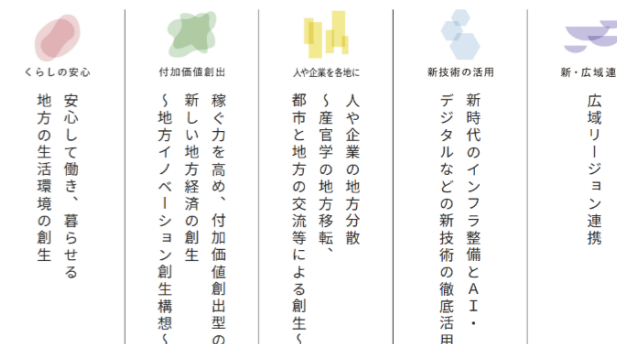
■ デジタル技術の活用による持続可能な地域社会・経済成長を実現
 ■ 多様な施策・人材・技術の組み合わせや連携を促進し新たな価値を創出
 新技術の活用
 付加価値創出
 人や企業を各地に
 新・広域連携

【新たな視点】

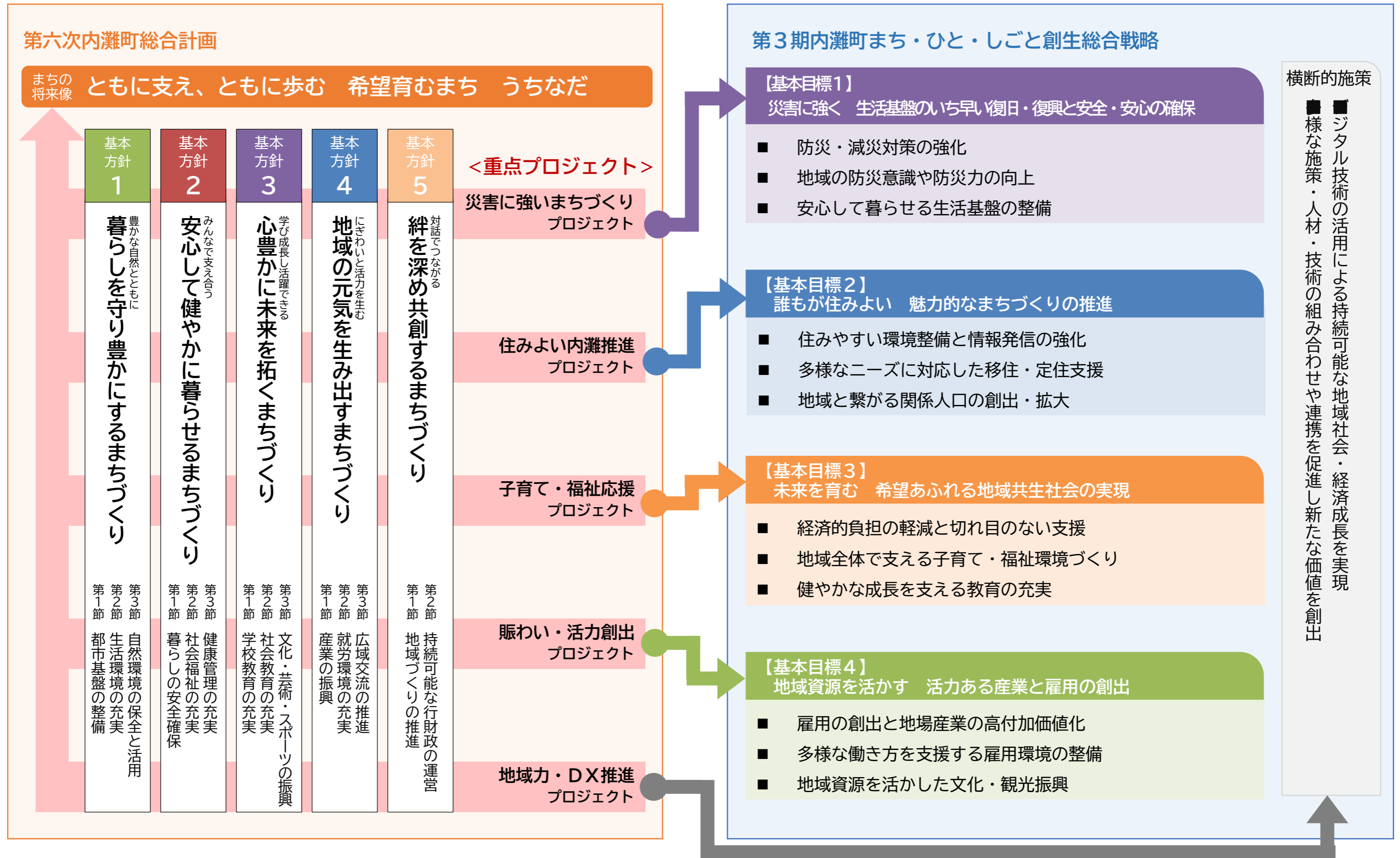
●社会動向

- ・ 人口構造の変化
- ・ 技術革新の進展
- ・ 地球環境問題の深刻化
- ・ 災害の激甚化
- ・ グローバル化の進展と変化
- ・ 社会意識・価値観の変化 など

●地方創生2.0の政策の5本柱



◆施策体系及び総合戦略の関係性



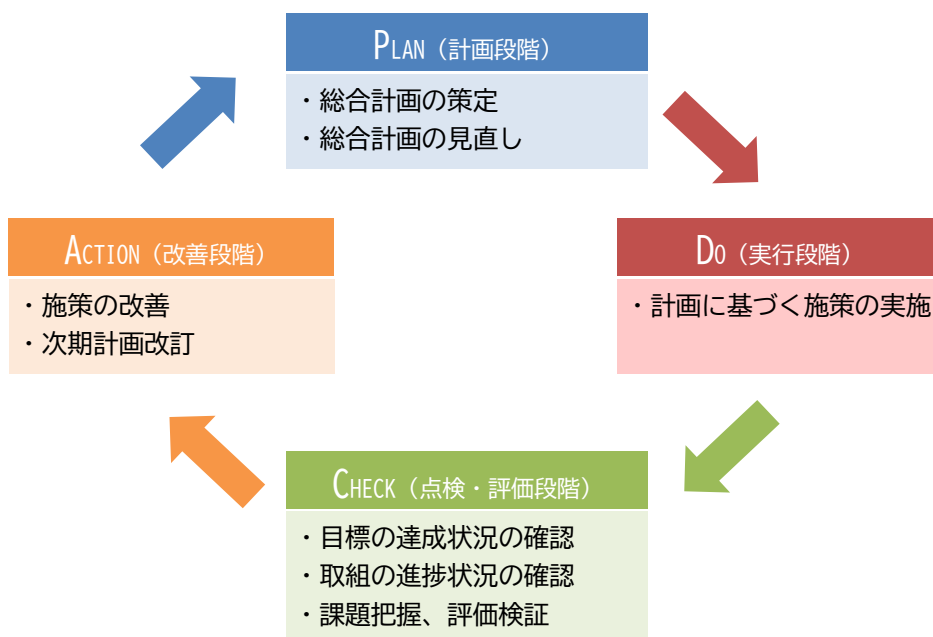
◆実効性を高める計画の推進

本計画の推進にあたっては、計画（Plan）、実施（Do）、点検評価（Check）、改善・見直し（Action）のPDCAサイクルを継続的に実施します。

これまでの総合計画においては、計画期間の中間年と最終年に目標指標の達成状況や施策の実施状況などを評価して計画の改善や見直しを行ってきました。一方、総合戦略は国の方針に基づき、毎年度、PDCAサイクルによる施策の進捗管理・評価を行い、その実効性を高めてきました。

今回、総合計画を総合戦略と一体となった計画として策定するため、毎年度に施策の進捗管理・評価を行うとともに、計画期間の中間年と最終年に計画を見直すこととし、従来に比べ実効性を高める計画として推進します。

【第六次内灘町総合計画のPDCAサイクル】



【計画見直し・施策の取組の評価スケジュール】

項目	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
計画見直し	施策の実施、推進			中間見直し	施策の実施、推進			次期計画策定作業
施策	毎年度施策の進捗管理・評価							

第六次内灘町総合計画【概要版】

発行：内灘町（令和8年3月）

編集：内灘町都市整備部企画振興課

〒920-0292 石川県河北郡内灘町字大学1丁目2番地1

TEL：(076)286-1111 FAX：(076)286-0617

URL：http://www.town.uchinada.lg.jp/